

令和7年度 第3回運営推進会議議事録 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和 7年 8月 12日																																			
		記載者	川添 真希																																			
議題	1. 交流・行事・地域活動の実施状況 2. 利用者状況・サービス実施状況 3. 事故・苦情・感染症・相談受付報告 4. 地域の現状等情報交換・助言など																																					
日時	令和 7年 8月 12日（火）開催																																					
出席者 敬称略	上中3区 町内会会長 グループホームなごみの郷亀山 三入・可部地域包括支援センター 看護小規模多機能ホームやすらぎ 広島市民生委員 ご利用者ご家族代表	川本 祥平 廣森 靖司 片山 崇紀 川添 真希 大道 麻衣子 藤原 照夫 植田 美鈴																																				
議事	1. 交流・行事等の実施状況 【実施した交流・行事】 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> お誕生日のお祝い 6月1名、7月1名 <input type="checkbox"/> クリスタルボール演奏会（6/28） <input type="checkbox"/> やすらぎ夏祭り（7/25） <input type="checkbox"/> 日頃の様子 <input type="checkbox"/> 事業所研修会（認知症について）5月、6月、7月開催 <input type="checkbox"/> 地域活動：上中地区美化清掃参加（まち+ともひろば） 2. 利用者状況・サービス実施状況 利用者状況 【看護小規模多機能ホームやすらぎ登録者】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> 平均介護度：3.9 平均年齢：82.8歳（51歳～103歳） サービス実施状況（1日平均人数・回数） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>通い</th> <th>泊り</th> <th>訪問介護</th> <th>訪問看護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>30</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>28</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>						要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	6月	3	4	3	11	6	7月	4	4	2	11	6		通い	泊り	訪問介護	訪問看護	6月	12	3	30	22	7月	12	2	28	21
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																																	
6月	3	4	3	11	6																																	
7月	4	4	2	11	6																																	
	通い	泊り	訪問介護	訪問看護																																		
6月	12	3	30	22																																		
7月	12	2	28	21																																		

新規利用者・終了者

	新規利用者	終了者
6月	2	4
7月	5	3

新規利用者内訳

- ・ターミナル 4名
- ・難病 1名
- ・胃ろう 1名

終了者内訳

- ・ご逝去 5名
- ・施設入所 1名
- ・サービス変更 1名

3. 事故・苦情・感染症・相談受付報告

	ヒヤリハット	アクシデント	苦情	感染症
6月	4	4	0	0
7月	6	3	0	0

<事故状況>

常に酸素吸入をされているご利用者。フロアで過ごされているときは酸素濃縮器を使用されており、移動時には携帯酸素ポンプを使用されている。帰宅の準備をするときに酸素濃縮器から携帯酸素に変更するときに酸素濃縮器の電源が入っていないことに気づく。すぐに電源を入れ血中酸素濃度を測定し91%から96%に上昇。ご本人からは、「今日は何となくしんどいと思っていた」と話しあり。

<対応策>

酸素を付け替えるときは、チューブが抜けていないか確認するとともに電源がきちんと入っているか、酸素が流れているか確認する。

⇒酸素の吸入がきちんとできていない事故が再度あったため対応策を再考。

指さし確認とともに酸素を付け替えるときは別の職員にも声をかけ確認する。

<事故状況>

歩くことができるご利用者で泊りを定期的にご利用されている。日中、個室で過ごされていることが多く、15時のお茶の声をかけに行くと姿が見えなかった。事業所内を探すが姿がないため、施設内外を搜索する。職員が再度部屋を確認するとご本人が服を着替えているところだった。所在確認すると「部屋にいた」と言われる。ベッド上には無かったお菓子の買い物袋があった。

<対応策>

数か月前にもベランダから外に出られていたため鍵の施錠に注意していたが徹底できていなかった。

ベランダに出る窓は鍵を閉めておくことと補助の鍵も設置し補助の鍵のネジは別保管とする。ベランダの部分のパーテーションを撤去する。

ヒヤリハット

- ・ ご利用者宅の鍵が送迎車内に残っていた
- ・ パン切り包丁を持って刃を指で触っていた
- ・ ご利用者の連絡袋に別の方の薬袋が入っていた
- ・ 15時に飲む薬を飲まずに帰宅された
- ・ ご利用者の体とマットレスの間からボールペンが出てきた

相談受付報告

安佐北区地域支えあい課より

5月より利用開始されているご利用者の避難計画について相談があり、事業所見学をされる

4. 地域の現状等情報交換・助言など

「認知症の方が身の回りで多くなった気がする。どこに相談をするか、本人や家族に病院へ行ったほうがよいなどしてよいのか迷うことがある。」という地域の情報について意見交換を行った。

- ・ 包括支援センターや当事業所、町内会など地域で情報共有を行い、アドバイスをを行う中で、早めに気付き対応できる環境が必要。
- ・ 地域での交流を円滑に行い、相談しやすい関係性作り

【連絡事項】

次回開催日時

日時：令和7年10月14日（火）10：00～

場所：看護小規模多機能ホームやすらぎ 相談室

以上